

収蔵資料から

其の112 『帝国少年議会議事録』



『帝国少年議会議事録』第4期第1号 (明治35年1月1日発行)

4歳年長の級友大見達也は、牧水に先んじて様々な雑誌に投稿していました。その一つが『帝国少年議会議事録』です。大見から教えられて投稿を知った牧水もこの雑誌に投稿しており、明治35年3月号から文章や新体詩、和歌、俳句などが掲載されはじめます。

大見の努力で雑誌入会者が増え、明治34年11月24日には延岡支部発会式がおこなわれました。牧水は仲間の選挙で支部長に推されます。

参照／『若山牧水伝』



掲載された延岡支部会員 (↑牧水 ↓大見達也)

牧水歌碑めぐり

其の113 馬ヶ背茶屋 (日向市)

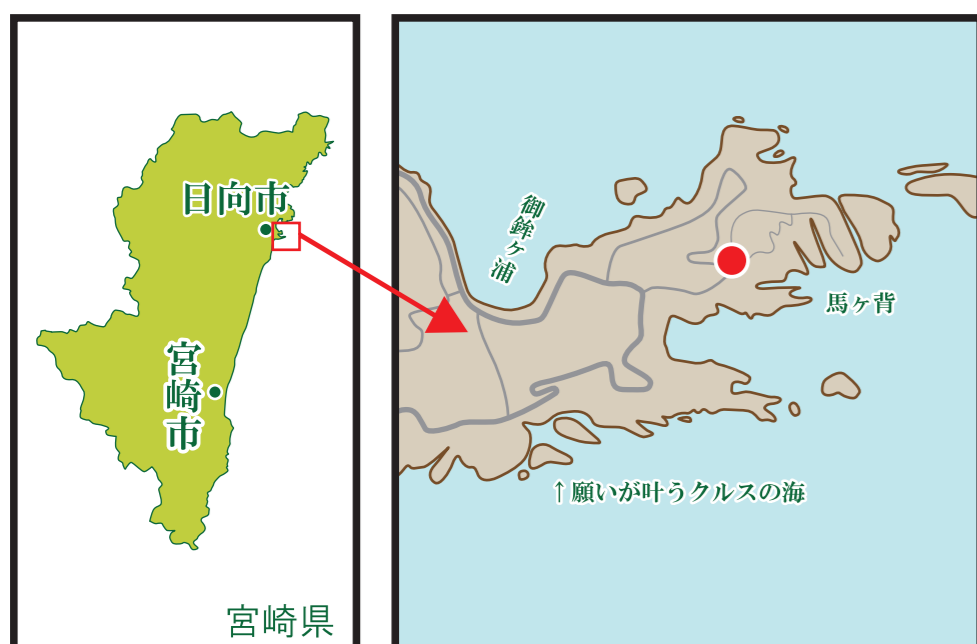


平成22年建立

樹は妙に
草うるはしき
青の國
日向は夏の
香にかをるか奈
牧水

この歌は早稲田大学3年の夏休みに帰省した明治39年に詠まれました。惜しくも歌集には収録されていませんが、牧水が日向という地名を詠みこんだ代表的な一首です。「妙」とは神秘的に感じるほどすばらしいという意味で、「うるはし」も賞讃する言葉です。山の緑が豊かで、海の青く広がる日向の国を「青の國」の一語で見事に表現しています。「夏の香にかをる」日向とは自然に恵まれた故郷に対する讃辞と言えるでしょう。

歌碑は、日向ロータリークラブ創立50周年を記念し、牧水生誕125年を迎える年に建立されました。



参照／『青の國若山牧水短歌大会入賞作品集』

文学館だより



令和8年 5月1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文責 日高 第121号

第16回青の國若山牧水短歌大会 作品募集のお知らせ



募集部門
【一般の部 自由題、題詠『歌』】… 全国どなたでも応募できます
【小・中・高校生の部】… 県内の児童生徒が応募できます

選者
【一般の部 自由題】 伊藤一彦 (歌人、若山牧水記念文学館長)
【一般の部 題詠『歌』】 大口玲子 (歌人、第17回若山牧水賞受賞)
【小・中・高校生の部】 大口玲子

応募締切 令和8年 7月31日 (金)

表彰式 令和8年 12月12日 (土)

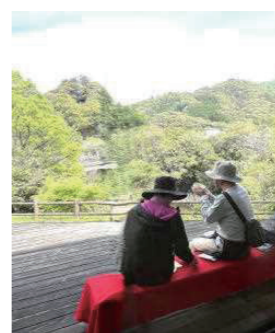
詳細は、若山牧水ホームページ、およびInstagram等でご確認ください。57577の調べに乗せてどうぞご投稿ください。たくさんのご応募お待ちしております。老婆心ながら、生成AI技術に頼ることなく、くれぐれも未発表の自作短歌をお寄せください。過去、他の短歌大会入賞作品であったり、友人同士なのか一部だけを変えての投稿作品であったり、心傷む事例が発生しています。

昨年度の入賞作品より
葬式は来なくていいから施設には会いに来てねと友真顔なり 一般の部自由題佳作
過去問に黄色いフセンが増えて行く航空レーザー測量法規 高校生の部優秀賞

第25回牧水の里のつつじ祭り 今年も賑わいました



4月12日(日)、牧水公園において第25回牧水の里のつつじ祭りが開催されました(主催 牧水の里のつつじ祭り実行委員会)。開花はまだまだ先ですが、晴天に恵まれ多くの来場者でした。今年も文学館では野点が行われ、自然の中で和をお楽しみいただける空間として開放され、展示室も終日無料開放し、ゆっくり見学していただきました。250個用意されたお菓子が早くもなくなり、午前中で終了してしまったのが残念でした。



そんな中注目したいのが、漬物屋梅香工房さんの出店と折り紙ワークショップです。足を運んでくださるお客様に喜んでもらおうと、そして、文学館のPRにと、いつも模索してくださっています。そして、今年の作品は...



季節にピッタリ
こいのぼりでした



さらに、イベント会場にて『若山牧水を知ろうクイズ』を実施しました。昨年に続き2回目の参戦で今年は二者択一方式で答えてもらいました。
第1問 「1番」 「若山牧水は坪谷小学校に入学して坪谷小学校を卒業した。」
「2番」 「若山牧水は坪谷小学校に転入して坪谷小学校を卒業した。」
正解は2番なのですが、1番に流れる方があまりにも多く、第1問で強制終了かと慌ててしまいました。7問出題して、全問正解者は3名でした。



←問題を聞いて、2番に移動している参加者。



→今年は、ボランティアとして東郷学園中学部の生徒たちが初参加。

朗読と篠笛で綴る 若山牧水の世界 聴き入りました

声優、舞台俳優として活躍の池田知聡(ともあき)さんと篠笛奏者物部聖子(ものべさとこ)さんの「若山牧水の世界」に出かけました。池田さんは、牧水随筆『おもひでの記』から「庭梅」「坪谷村」など数節を朗読され、物部さんは牧水つながりで、「悲しい酒」や延岡市の「ばら踊り」、牧水が好きだったという「伊那節」などを演奏されました。



朗読 池田知聡さん
篠笛奏者 物部聖子さん

4/20(月)
休モルアイルカセンターにて

FMひゅうが番組内で「牧水の歌」を長年担当している池田さんの声と、文学館を見学くださったことのある物部さんの篠笛の音に聴き入りました。次は文学館を会場に再演されることを願っています。終了後には、沼津から宮崎に引越して来たという方に声をかけてもらったり、来場者の一人は翌火曜日、文学館に来てくださったり、ここでもご縁を感じたことでした。行ってよかった♡池田さん、物部さん、ありがとうございました。

講座生募集!! ご応募お待ちしております

「伊藤一彦短歌実作講座」 (中級者・上級者コース)	「短歌実作基礎講座」 (初級者コース)
開催日 ① 6月17日(水) 13:30~16:20 日向市中央公民館 ② 8月19日(水) 13:30~15:30 日向市中央公民館 ③ 11月18日(水) 14:30~16:30 日向第一ホテル	開催日 ① 7月7日(火) 13:30~16:00 日向市中央公民館 ② 8月18日(火) 13:30~16:00 若山牧水記念文学館 ③ 11月10日(火) 13:30~16:00 若山牧水記念文学館 ④ 1月12日(火) 13:30~16:00 日向市中央公民館 ⑤ 2月9日(火) 10:00~12:00 日向第一ホテル
申し込み締切 5月20日(水)	申し込み締切 5月31日(日)

先月号でもご案内しましたが、講座内容、申し込み等詳細につきましては、こちらをご覧ください。若山牧水のふるさとで短歌を詠んでみませんか。多くの方のご応募お待ちしております。



ホームページ Instagram

牧水先生の一首 折に触れて出会う一首を紹介しています

海青しその青かるがひたぶるに荒ぶを見つ 紅む御顔よ
うみあおし そのあおかるが ひたぶるに あらぶをみつ あかんみほほよ

この歌は、明治41年に詠まれているが、歌集には収録されていない。牧水は青と白を好む多くの歌を詠んでいるが、この歌には「海の青」と「赤らむ顔」が描かれている。鮮やかな色の対比が目に残り今月の一首とした。荒れ狂う海を見つめながら顔を紅潮させているのは、かつての恋人園田小枝子なのだろうか。参照 『若山牧水全歌集 伊藤一彦編』

探しています

○ 日向市あくがれ広場にある「幾山河〜」の牧水歌碑が日向市駅構内にあった当時の写真(動画)を探しています。ホーム、階段等が映っていて駅構内であることがわかる写真(動画)をお持ちの方、譲っていただけないでしょうか。

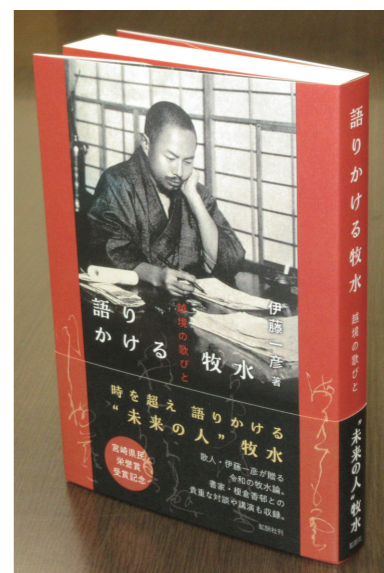
お知らせ

○ Instagramを始めました。覗いてみてください。ホームページ、フェイスブックとともに文学館の今を伝えていきます。

海青しその青かるが
ひたぶるに荒ぶを見つ
紅む御顔よ
牧水

新刊紹介

文学館にてお求めいただけます



語りかける牧水
越境の歌びと

著者/伊藤一彦
価格/2200円(税込)

宮崎県民栄誉賞受賞を記念して発行された、歌人・伊藤一彦が贈る令和の牧水論です。書家・榎倉香郁との貴重な対談や講演も収録しています。

【あわせて読みたい一冊】

歌が照らす

著者/伊藤一彦
価格/2750円(税込)

新聞雑誌に掲載された近年のエッセイやインタビューなどを収めた一冊です。どのような歌に魅力を感じ、読者の一人として心を照らされてきたかをうかがい知ることができます。



牧水・延岡青春物語

漫画/しいやみつのもり
価格/1200円(税込)

牧水が延岡で過ごした8年間にスポットを当てた漫画です。牧水生誕140年を記念して発行されました。

【あわせて読みたい一冊】

マンガ若山牧水

漫画/しいやみつのもり
価格/1200円(税込)

牧水の生涯を漫画で分かりやすく紹介しています。牧水没後90年を記念して出版されました。小学生から大人まで楽しめる一冊です。



若山牧水記念文学館

〒888-0211 宮崎県日向市東郷町坪谷1271番地



■利用案内■
【開館時間】9:00~17:00 (入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日は除く) 年末年始(12月29日~1月3日)
【入館料】小・中学生/100円 高校生以上/310円(20名以上の団体は2割引)
【お問合せ】TEL 0982-68-9511 FAX 0982-68-9512【公式HP】https://www.bokusui.jp